

成田市スポーツ施設個別施設計画

令和3年3月

成田市

目 次

第 1 章 計画の目的等

1.1 背景・目的	1
1.2 位置づけ	1
1.3 対象施設	2
1.4 施設の配置状況	3
1.5 計画期間	4

第 2 章 維持・保全の考え方

2.1 維持管理・修繕・更新の基本方針	5
2.2 建築物の保全方法	7
2.3 目標耐用年数の設定	9
2.4 部位・設備別の更新周期	11
2.5 施設整備の水準	14

第 3 章 個別施設の状態等

3.1 劣化状況調査	16
3.2 劣化度評価	17

第 4 章 改修・更新費用の算出及び長寿命化の効果検証

4.1 算定条件	25
4.2 修繕・更新等費用の見通し	26

第 5 章 対策の優先順位の考え方

5.1 優先順位の考え方	28
--------------	----

第 6 章 対策内容と実施時期

6.1 今後 7 年間の施設別の老朽化対策と実施時期	29
6.2 老朽化対策の実施時期	33

第 7 章 計画の継続的運用方針

7.1 施設情報の整備活用	34
7.2 推進体制	34
7.3 フォローアップ	34

第1章 計画の目的等

1.1 背景・目的

本計画は、「成田市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」を推進するため、公共施設の劣化状況を把握し、建築部位等ごとの修繕・更新時期等を設定し、施設の計画的な修繕・更新等を実施することにより施設の長寿命化を図り、更新等費用の平準化や縮減に資することを目的としています。

1.2 位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」に規定される個別施設計画であり、本市における公共施設等の管理方針等を定めた「成田市公共施設等総合管理計画」を踏まえ策定します。

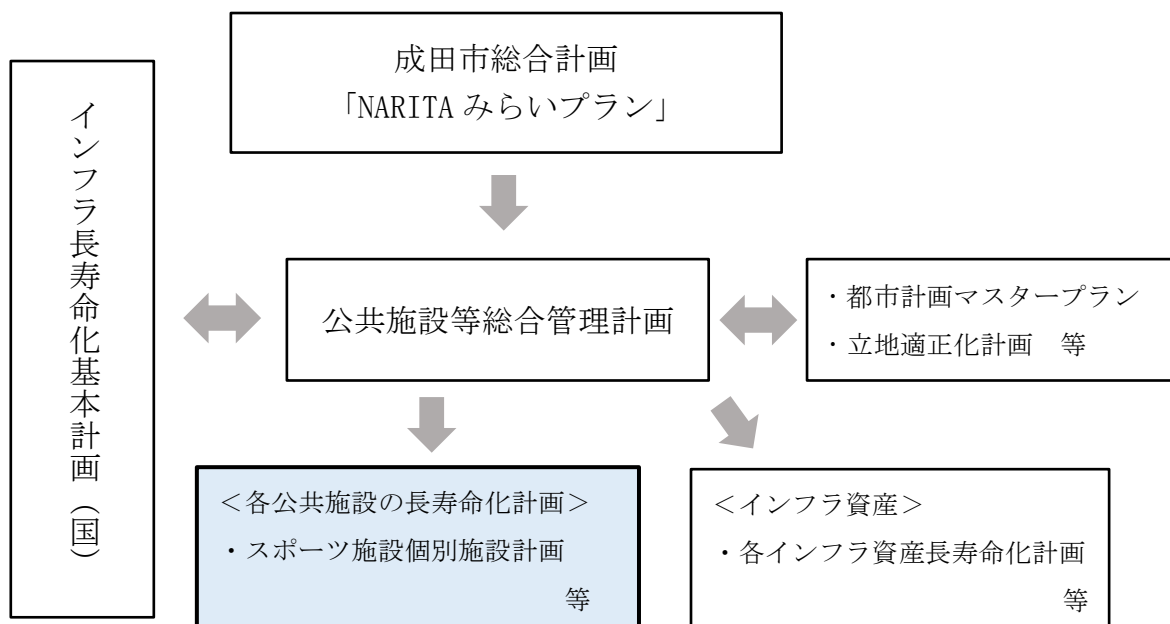


図1-1 本計画の位置づけ

1.3 対象施設

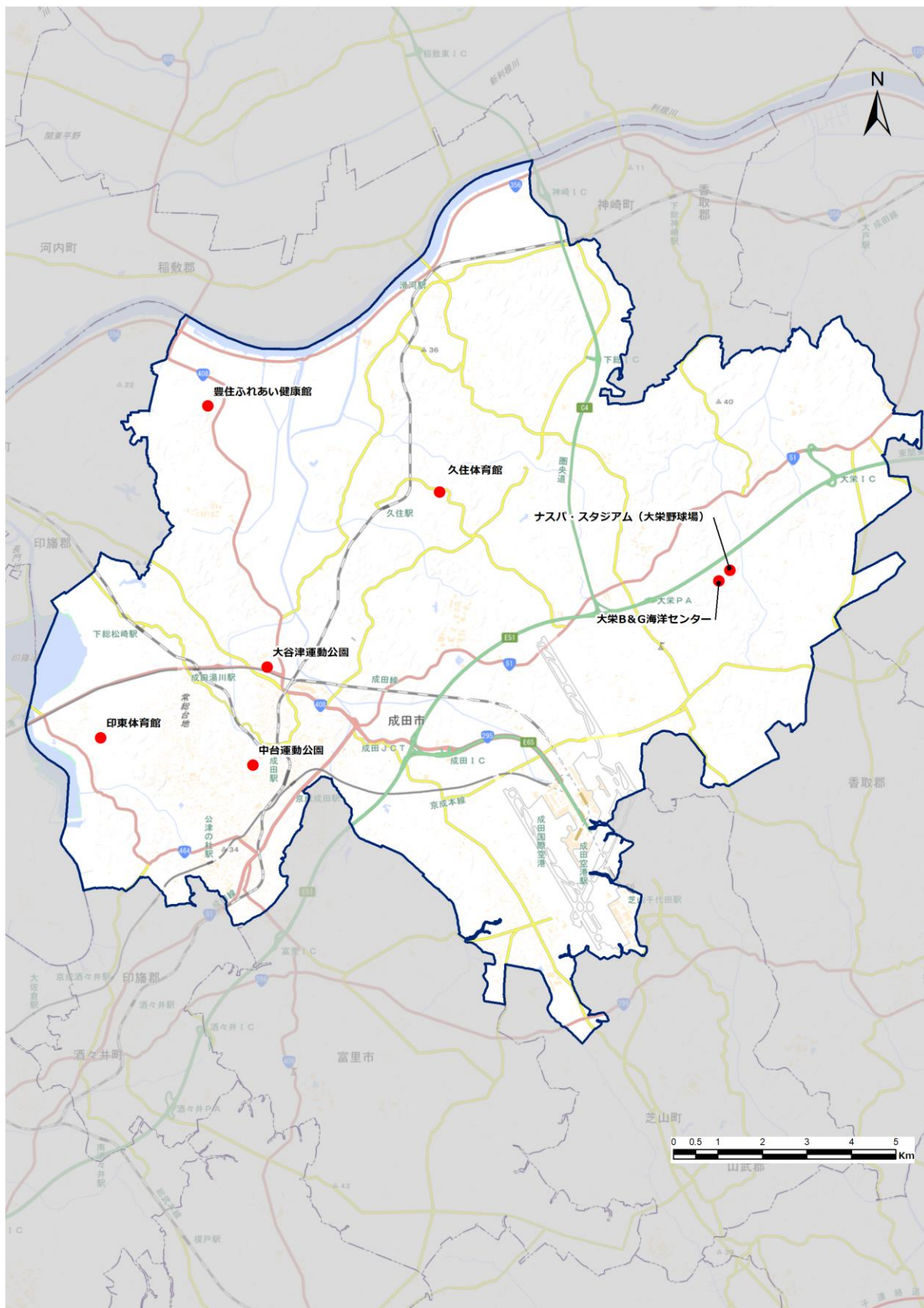
本計画の対象範囲は、本市が保有するスポーツ施設のうち、表1-1に掲げる施設(7施設10棟)を対象とします。

表1-1 対象施設一覧

施設番号	施設名称	棟名称	所在地
1	大谷津運動公園	水泳プール管理棟	押畑952-3
2	中台運動公園	陸上競技場	中台5-2
		体育館	
		相撲場	
3	久住体育館	体育館	幡谷922-6
4	大栄B&G海洋センター	アリーナ、武道場、会議室等	一坪田388
		水泳プール棟	
5	ナスパ・スタジアム（大栄野球場）	野球場	一坪田410-1
6	印東体育館	体育館	船形186-2
7	豊住ふれあい健康館	体育館	北羽鳥1975-3

1.4 施設の配置状況

対象施設の配置状況は下図のとおりです。



1.5 計画期間

本計画は本市の総合計画である「NARITA みらいプラン」や本市における公共施設等の管理方針等を定めた「成田市公共施設等総合管理計画」などを上位計画としており、他計画と期間の整合を図るため、令和3年度（2021年度）から令和9年度（2027年度）の7年間とします。なお、修繕・更新等費用の試算期間は40年間とします。

また、上位計画等の見直しや社会情勢の変化などの状況に応じて、適宜見直しを行うものとします。

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)
成田市総合計画「NARITA みらいプラン」基本構想（12年間）														
第1期基本計画（4年間）				第2期基本計画（4年間）				第3期基本計画（4年間）						
第2次成田市生涯スポーツマスタープラン（10年間）					成田市スポーツ振興マスタープラン（7年間）									
成田市スポーツツーリズム推進戦略（計画期間無し）														
成田市公共施設等総合管理計画（11年間）														
<div style="text-align: center;">(本計画) 成田市スポーツ施設個別施設計画</div>														

第2章 維持・保全の考え方

2.1 維持管理・修繕・更新の基本方針

(1) 上位計画での位置づけ

本計画の上位計画である「NARITA みらいプラン」第2期基本計画、「成田市スポーツ振興マスタープラン」、「成田市スポーツツーリズム推進戦略」、「成田市公共施設等総合管理計画」の4つの上位計画によるスポーツ施設に関する記載の概要は以下のとおりです。

① 「NARITAみらいプラン」第2期基本計画（2020年度～2023年度）

本市の総合的な指針を定めた「NARITA みらいプラン」では、本市をとりまく環境変化への対応として、観光地域づくりとスポーツツーリズムの推進が謳われており、スポーツ大会や合宿の誘致の促進に取り組み、スポーツ施設を核とした地域活性化への取り組みが示されています。

教育・文化の分野においては、「学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり」を基本目標の一つに掲げ、スポーツ指導者や団体の支援・育成、スポーツイベントの誘致、利用しやすく快適なスポーツ施設の充実に努めています。

② 成田市スポーツ振興マスタープラン（2021年度～2027年度）

市民がスポーツを身近に楽しめる環境づくりの一環として、スポーツ施設の適正な管理運営と整備について施策を掲げるとともに、スポーツを通じた共生社会の実現のため、施設改修に併せたバリアフリー化にも努めることとしています。

③ 成田市スポーツツーリズム推進戦略

スポーツツーリズム推進上の課題として、スポーツ施設の老朽化問題を克服すべき問題点として挙げており、7つのスポーツツーリズム推進戦略の一つに「スポーツキャンプ・合宿施設改善プロジェクト」を掲げ、スポーツ施設の改修、バリアフリー化など、施設の改良・改善を計画的に推進することとしています。

④ 成田市公共施設等総合管理計画

公共施設等の管理に関する基本的な方針として、点検・診断及び安全確保の実施方針を定めており、従来の「事後保全型」の維持管理から「予防保全型」の維持管理への転換を掲げ、定期的な点検・診断の実施と、施設の状況を保全計画に反映する仕組みづくりをもって、安全確保を図ることとしています。

維持管理・修繕・更新等の実施方針では、点検・診断結果を踏まえた適切な修繕の実施、予防保全型維持管理を行う施設の選定に加え、施設更新時の機能複合化や、民間活力の活用の検討が謳われています。

耐震化及び長寿命化の実施方針では、大規模改修時等に実施する躯体の健全性調査の結果が良好な施設については、長寿命化型改修を実施し建築後80年使用することを目標としています。また、その他の施設については、将来の市民ニーズを考慮しながら長寿命化を検討することとしています。

(2) スポーツ施設の維持管理・修繕・更新に関する基本方針

関連上位計画による基本方針等を受け、本計画ではスポーツ施設の維持管理・修繕・更新に関する基本方針を以下のとおり定めます。

① 適切な保全手法の設定

本市の保有するスポーツ施設の内、スポーツ活動の場として主に活用されている建物については、安全性や機能が損なわれる前に計画的な修繕等を実施する「予防保全」型の維持管理を行います。

② 施設の長寿命化

本市の保有するスポーツ施設は、長寿命化型改修を実施し長期的に利用することを前提に施設の修繕・更新計画を検討します。

③ 定期的な自主点検・診断の実施

本市の保有するスポーツ施設の状況を適切に把握し保全計画に反映する為、定期的な点検・診断を実施します。また、点検・診断を確実に実施するための体制構築を図ります。

2.2 建築物の保全方法

- 建築物の保全については、劣化状況調査等により劣化の状況を事前に把握し、計画的に保全を実施する「予防保全」により、建築物を管理することを基本とします。
- 施設の状態を適切に把握する為、今後は職員等による定期点検等を実施します。定期点検等にあたっては、マニュアル等を整備し調査・点検の質の確保に努めます。
- 市の保有するスポーツ施設は、可能な限り長期間使用することとし、長寿命化改修を実施します。なお、長寿命化改修にあたっては事前に躯体の健全性調査を行い、躯体の状態が良好な施設を長寿命化改修の対象とします。
- 改修等の実施にあたっては、躯体の経年劣化の回復やライフラインの更新等といった建築物の建設当初の水準に戻すだけでなく、耐久性に優れた仕上げ材への取替えや地震対策、防災機能の強化、省エネルギー化、バリアフリー化等の性能の向上といった現在の社会的ニーズに対応するため、基本的性能の向上も図ります。
- 市の保有するスポーツ施設は全て耐震改修工事が完了し、耐震性能を有しています。今後は非構造部材の地震対策、老朽化した部材の落下防止対策などの地震対策を行います。

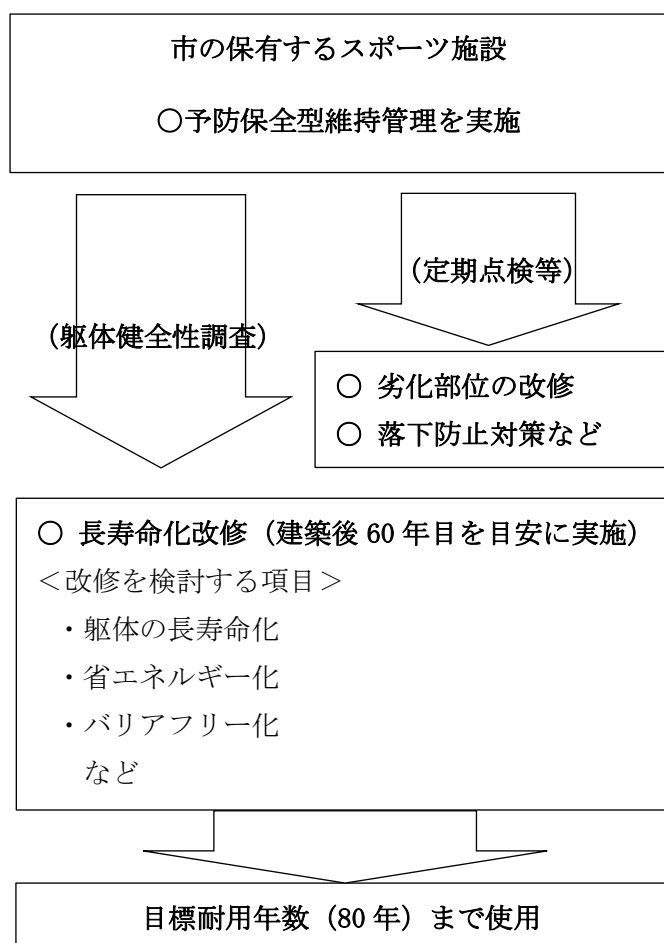
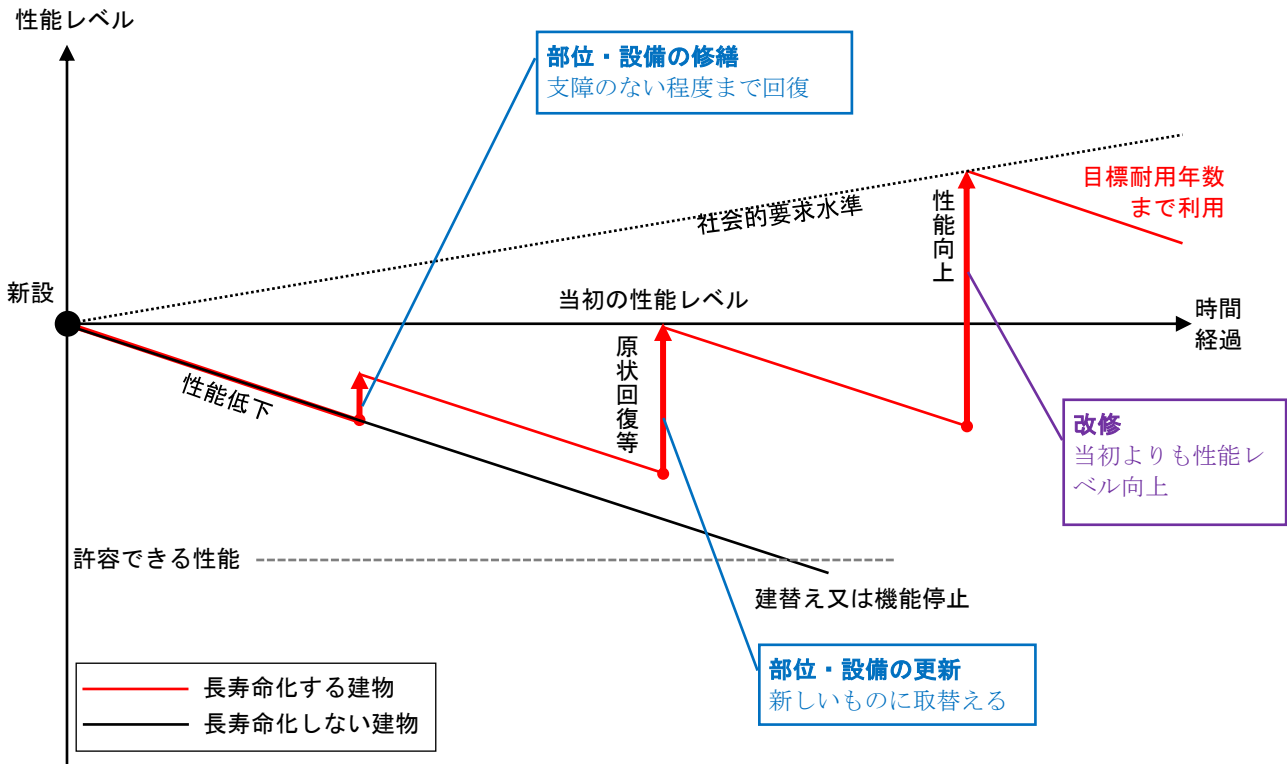


図2-1 建築物の維持保全の流れ

建築物は、使用年数の経過により部位・部材及び設備ごとに劣化や陳腐化が進行するとともに、バリアフリーや省エネルギーといった要求性能と現状の建築物性能との差が生じるため、定期的な修繕による部分的な原状回復に加えて、全体的に原状回復、性能向上を図る長寿命化改修の実施を検討します。



※原状回復だけでなく、性能向上をさせるものを改修といい、建築物全体を改修する場合は、大規模改修という。なかでも、長寿命化を目的として、耐久性向上と性能向上を図るものは長寿命化改修という。

図 2 - 2 建築物の保全のイメージ

2.3 目標耐用年数の設定

躯体の構造別耐用年数は、下表に示すとおり、各種法令等で異なります。

表 2-1 各種法令等による躯体構造別の耐用年数

記号	建物構造	1.建築物の 耐久計画	2.建築 工事標 準仕様 書	3.減価償却	4.学校施 設財産 処分	5.公営 住宅法	6.都市 再開発 法
SRC RC	鉄骨鉄筋コ ンクリート 造 鉄筋コンク リート造	60	65	事務所用 50	H12年 以前： 60 H13年 以降： 47	耐火 70	事務所 図書館 等 50
S	鉄骨造	重量鉄骨 (肉厚 6 mm 以上)：60 軽量鉄骨 (肉厚 6 mm 未満)：40		(肉厚 4 mm超) 事務所用：38	H12年 以前 40	準耐火 45	事務所 図書館 等 38
				(肉厚 3 mm超) 事務所用：30	H13年 以降 34		
				(肉厚 3 mm以下) 事務所用：22			
W	木造	官庁：60		事務所用：24	H12年 以前： 24 H13年 以降： 22	30	
		事務所：40					

1. 建築物の耐久計画：建築物の耐久計画に関する考え方（1988年10月 日本建築学会）
2. 建築工事標準仕様書：建築工事標準仕様書（JASS5 鉄筋コンクリート工事 2009年 日本建築学会）
3. 減価償却：減価償却資産の耐用年数に関する省令（改正：平成30年3月31日 財務省令第31号）
4. 学校施設財産処分：学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～（平成25年3月 文部科学省）
5. 公営住宅法：公営住宅法施行令（改正：平成29年12月22日 政令第319号）
6. 都市再開発法：都市再開発法施行令（改正：平成30年6月6日 政令第183号）

本計画では、「建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）」を参考に、標準的に使用する建物の「標準耐用年数」及び長寿命化を図る建物の「目標耐用年数（長寿命化）」を表 2-2 のように設定します。「標準耐用年数」は表 2-4 における代表値を採用し、「目標耐用年数（長寿命化）」は上限値を採用することとします。

なお、建築物の個別の劣化状況や機能劣化への対応状況等に対する費用対効果などを総合的に判断した上で、目標耐用年数に満たない建替えに対応することも可能とします。

表 2-2 本市における標準耐用年数と目標耐用年数（長寿命化）の設定

建築物の構造	標準耐用年数	目標耐用年数 (長寿命化)
鉄筋コンクリート造 (RC) 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 鉄骨造 (S)	60 年	80 年

表 2-3 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	構造種別	鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
		鉄骨・鉄筋コンクリート造		重量鉄骨		軽量鉄骨		
		高品質 の場合	普通品質 の場合	高品質 の場合	普通品質 の場合			
学校 官庁	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 60 以上	
住宅 事務所 病院	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	

資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

表 2-4 目標耐用年数の級の区分の例

級	目標耐用年数	代表値	範囲	上限値	下限値
	Y ₀ 100以上	100年	80~120年	120年	80年
	Y ₀ 60以上	60年	50~80年	80年	50年
	Y ₀ 40以上	40年	30~50年	50年	30年
	Y ₀ 25以上	25年	20~30年	30年	20年

資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

2.4 部位・設備別の更新周期

標準耐用年数及び目標耐用年数まで施設を安全で快適に使用するためには、部位・設備ごとの劣化に対処するとともに、社会的な要求レベルの変化に対応して建築物の性能を向上させることが必要です。

部位・設備等の仕様内容によって更新周期は異なりますが、標準的なおおむねの更新周期は下表に示すとおりです。★のついた予防保全対象部位については、不具合が発生することで建物の寿命を著しく縮めたり、安全で快適な施設の仕様を損なうことにつながるため、不具合が発生しないように計画的に保全を行っていくことが重要です。

表 2-5 部位・設備別の標準的な更新周期

◆15年目				★：予防保全対象部位
電気	電力	照明器具	LED灯(タウライト)	
		照明制御装置	照明制御装置_天井埋込形(明るさセンサー・人感センサー)	
	電力貯蔵・発電	太陽光発電装置	パワーコンディショナー	
	通信・情報	防犯・入退室管理(防犯)		★
機械	空調	空調弁類		★
		制御弁装置		★
		計器		
	自動制御			★
	給排水衛生	湯沸器		★
		給水給湯弁類		★
◆20年目				★：予防保全対象部位
建築	屋根	雑	屋根シーリング	★
	外部	壁	塗装(コンクリート面)	★
			シーリング	★
電気	電力貯蔵・発電	直流電源装置		
	通信・情報	構内交換	電話機	
		情報表示(時刻表示・出退表示)		
		映像・音響		
		拡声	増幅器壁掛形	
		テレビ共同受信		
		防犯・入退室管理(カメラ)		★
	通信・情報(防災)	ガス漏れ火災警報		★
	中央監視	中央監視制御		★
	避雷・屋外	高圧引込		★
外灯				
機械	空調	空気調和機	空調機カセット形	★
		冷凍機		★
		冷却塔		★
		空調ポンプ		★
	給排水衛生	給排水ポンプ		★

◆25年目				★：予防保全対象部位	
建築	屋根	露出防水		★	
電気	電力	照明器具	蛍光灯		
		照明器具(非常照明)		★	
		照明器具(誘導灯)		★	
	電力貯蔵・発電	太陽光発電装置	電池モジュール		
			表示装置(屋内壁掛型)		
	通信・情報	拡声	スピーカー		
		誘導支援(インターホン)			
		誘導支援(呼出)			
通信・情報(防災)	自動火災報知			★	
	自動閉鎖			★	
機械	給排水衛生	給水給湯配管類	ビニル管	★	

◆30年目				★：予防保全対象部位	
建築	外部	雑	手すり		
	内部	床	タイルカーペット敷き フリーアクセスフロア(オフィス用)		
電気	電力	電線保護物類	電線管(屋外露出)		
		照明器具	LED灯(直付)		
		分電盤			
		OA盤			
		開閉器箱			
		制御盤			
	受変電	高圧受配電盤			★
		高圧コンデンサ盤			★
高圧機器				★	
電力貯蔵・発電	ディーゼル発電装置(非常用)			★	
通信・情報	電線保護物類	電線管(屋外露出)			
	構内交換	電話用アウトレット(埋込)			
機械	空調	煙道			
		空気調和機	空調機(屋外機)	★	
		空調タナク類		★	
		制気口・ダンパー		★	
		空調配管類		★	
	換気	送風機			★
		換気口	排気フード		
	給排水衛生	給水給湯タンク類			★
		給水給湯配管類	銅管、ステンレス鋼管、塩ビライニング鋼管		★
		排水配管類			★
		浴槽			
		その他衛生設備	ろ過機		★
	消火	消火ポンプ			★
		消火配管類			★
	昇降機その他	エレベーター			★

◆40年目				★：予防保全対象部位	
建築	屋根	雑	笠木		
	外部	壁	複層仕上塗材(コンクリート下地)	★	
	外部建具	アルミ製		★	
	内部建具	鋼製	鋼製軽量親子開扉SOP		
	内部	壁			
		天井			
雑			便所スクリーン、化粧洗面カウンター、フラインド 流し台、フラインドボックス		
電気	電力	電線類			
		電線保護物類	端末処理、防火区画貫通処理、分岐処理		
	通信・情報	電線類			
		電線保護物類	防火区画貫通処理		
		構内交換	端子盤		
	避雷・屋外	避雷			
機械	空調	空調ダクト			
	換気	換気口	ベントキャップ		
	給排水衛生	衛生陶器類			
		水栓			
	消火	屋内消火栓		★	
		連結送水管		★	
スプリンクラー			★		
◆50年目				★：予防保全対象部位	
建築	屋根	雑	硬質塩化ビニル管外部縦樋		
	外部	壁	タイル張り	★	
	外部建具	ステンレス製		★	
	内部建具	ステンレス製			
	内部	床	フローリング張り 畳敷き		
◆60年目				★：予防保全対象部位	
建築	外部	天井	アルミ製成形板		
		カーテンウォール	アルミ製嵌殺パネル	★	
	内部	床	合成樹脂塗床		
			ビニル床タイル張り ビニル床シート張り		

資料：平成31年版建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）

2.5 施設整備の水準

改修等の実施にあたっては、躯体の経年劣化の回復やライフラインの更新等といった建築物の建設当初の水準に戻すだけでなく、耐久性に優れた仕上げ材への取替えや耐震対策、防災機能の強化、省エネルギー化、バリアフリー化等の性能の向上といった現在の社会的ニーズに対応するため、基本的性能の向上も図ります。

公共施設に求められる基本的性能は、下表に示すとおりです。

表 2-6 公共施設に求められる基本的性能

種類	概要
安全性	耐震性、防災性、機能維持性、防犯性
機能性	利便性、ユニバーサルデザイン、室内環境性、情報化対応性
経済性	耐用性、保全性
社会性	地域性、景観性
環境保全性	環境負荷低減性、周辺環境保全性

これから整備される公共施設については、企画段階からあらかじめ長寿命化に必要な性能を備えた部位・部材及び設備を採用することとします。また、既存建築物の改修等においては、適用可能な設計を選択して採用することとします。

新築する施設や長寿命化改修の設計に関する重点事項は表 2-7 のとおりとし、部位・部材の標準水準は表 2-8 に示すとおりとします。

表 2-7 新築及び長寿命化の重点事項

性能	内容
可変性	階高を高くするなど、将来の用途変更へ対応が可能なプランとします。
更新性	改修工事の際の工事費を抑制するため、躯体と設備を分離するなど、設備の更新が容易な構造とします。
耐久性	各部材について、ライフサイクルコストが最適でかつ耐久性の高いものを選択します。
メンテナンス性	清掃や点検、修繕等の維持管理業務を効率的に実施可能な設計とします。
省エネルギー性	自然エネルギーの活用、環境負荷の低減など、省エネルギー対応の設計とします。

表 2 - 8 部位・部材別標準水準

部位・部材		内容
構造体	躯体	耐用年数 80 年を想定したものを使用します。
	防水、外壁	防水性能が劣化し、漏水することで構造躯体が劣化するため、耐久性に優れた素材を使用します。
内装、設備		劣化にかかる改修、修繕や用途変更が容易に実施できるように可能な限り標準品・汎用品を使用します。
バリアフリー		エレベーター、スロープ、多目的トイレ等のバリアフリーに配慮した設備を設置します。
環境負荷の低減（省エネルギー対応）		太陽光発電、LED 照明、高断熱・高气密化等の省エネルギー化に対応した設備を設置します。

第3章 個別施設の状態等

3.1 劣化状況調査

(1) 劣化状況調査の概要

劣化状況調査は、劣化状況調査マニュアルに基づき、下表に示す項目について実施しています。

※劣化状況調査結果の詳細は、別途「劣化状況調査結果報告書」にとりまとめています。

表3-1 劣化状況調査の主な調査項目

部位・設備	主な調査項目
1. 構造部	コンクリートのひび割れ、錆汁、鉄筋の露出 鉄骨の変形、錆 等
2. 建築部位	
屋根・屋上	屋上床面のひび割れ・浮き・剥離・摩耗等、目地・シーリング材の損傷等、排水溝・排水口・雨樋のつまり等
外壁	外壁仕上げ材の剥落・白華・ひび割れ・浮き・錆・変形等、目地・シーリング材の損傷等
外部建具	窓サッシ・ドア等の損傷、枠周囲のシーリング破断等
内部仕上げ	天井・壁の漏水跡、天井・壁・床の仕上げ材の浮き・たわみ・ひび割れ・剥落・損傷等
内部その他	階段手摺、踏面、滑り止め等の摩擦・損傷等、防火戸、シャッター、排煙窓等の動作不良・損傷等
機械設備	給排水設備、空調・換気設備、衛生設備、消防設備の不具合等
電気設備	受変電設備、照明器具の不具合等
3. 基礎・基礎回り	基礎コンクリート・土間コンクリートのひび割れ、損傷等 地盤沈下や建物の傾斜
4. 敷地	敷地内の舗装等のひび割れ、陥没、損傷等 排水溝等の排水不良、損傷等 擁壁・屏等のひび割れ・損傷等

(2) 劣化状況調査の対象建築物

劣化状況調査の対象建築物は、本計画の対象施設の全ての建物となります。


※P.2「表1-1」参照

3.2 劣化度評価

(1) 劣化度評価の方法

劣化度の評価方法は、劣化状況調査項目を下表のような評価基準に基づき評価しています。詳細については、資料編の「資料1. 劣化度評価の方法」に示すとおりです。

表3-2 部位別修繕等の優先度



評価	基準	修繕等の優先度
A	おおむね良好	低
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	普通
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	優先
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、施設運営に支障を与えている）等	最優先

(2) 劣化度評価の結果

劣化状況調査に基づき施設の劣化度を評価した結果は以下のとおりです。

○ナスパ・スタジアム（大栄野球場）の外壁について、鉄筋の錆、露出が見られたため D 評価となっており、早急な対応が必要となっています。



○豊住ふれあい健康館の構造部について、外壁面に鉄筋の錆、露出が多数見られたため D 評価となっており、早急な対応が必要となっています。

表 3 - 3 劣化度評価結果


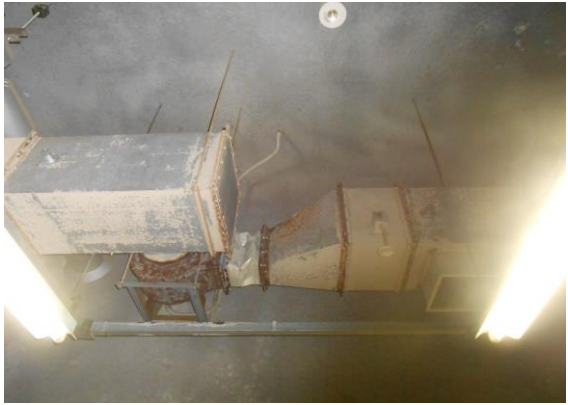
施設番号	施設名	棟名 (建物名)	建築年	延床面積 (㎡)	構造	施設評価						総合 評価点	
						1. 経過 劣化度	2. 構造部	3. 部位別劣化度の評価点					
								(1) 屋根 屋上	(2) 外壁	(3) 内部	(4) 機械 設備		(5) 電気 設備
1	大谷津運動公園	水泳プール管理棟	平成20年	426	鉄筋コンクリート造 (RC)	76.00	200 A	150 B	150 B	75 B	100 A	100 A	851.00
2	中台運動公園	陸上競技場	昭和58年	2,241	鉄筋コンクリート造 (RC)	26.00	80 B	150 B	200 B	75 C	75 B	75 B	681.00
2	中台運動公園	体育館	昭和59年	8,630	鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)	28.00	150 B	150 B	150 B	40 C	75 B	75 B	668.00
2	中台運動公園	相撲場	昭和63年	607	鉄骨造 (S)	15.79	150 B	150 B	150 B	75 B	75 B	75 B	690.79
3	久住体育館	体育館	昭和55年	901	鉄骨造 (S)	0.00	150 B	150 B	80 C	40 C	75 B	75 B	570.00
4	大栄B&G海洋センター	アリーナ、武道場、会議室等	昭和61年	4,405	鉄筋コンクリート造 (RC)	32.00	200 A	200 A	150 B	40 C	40 C	100 A	762.00
4	大栄B&G海洋センター	水泳プール棟	昭和61年	900	鉄骨造 (S)	10.53	200 A	200 A	200 A	75 B	100 A	100 A	885.53
5	ナスパ・スタジアム (大栄野球場)	野球場	平成22年	2,478	鉄筋コンクリート造 (RC)	80.00	150 B	150 B	20 D	75 B	100 A	100 A	675.00
6	印東体育館	体育館	平成元年	986	鉄骨造 (S)	18.42	200 A	150 B	150 B	40 C	75 B	75 B	708.42
7	豊住ふれあい健康館	体育館	昭和55年	840	鉄筋コンクリート造 (RC)	20.00	20 D	80 C	80 C	40 C	40 C	40 C	320.00

劣化状況調査の際に見られた各施設の代表的な劣化状況は以下のとおりです。

表 3 - 4 劣化度評価結果

施設名	1.大谷津運動公園	棟名	水泳プール管理棟
評価部位	外壁 B	評価部位	内部 B
白華やクラックが見られますが部分的です。		幅 0.2mm 以上のクラックが一部に見られる 他、床に 0.2mm 未満のクラックが散見されま す。	
			



施設名	2.中台運動公園	棟名	陸上競技場
評価部位	構造部 C	評価部位	内部 B
白華やクラックが多数見られます。		漏水の影響と思われる塗装剥がれが見られま したが部分的です。	
			

施設名	3.中台運動公園	棟名	体育館
評価部位	内部 C	評価部位	機械設備 B
漏水の跡及び漏水の影響と思われる劣化が随所に見られます。		ダクトの錆などが見られましたが部分的です。	
			






施設名	4.中台運動公園	棟名	相撲場
評価部位	構造部 B	評価部位	
鉄骨の錆などが見られますが部分的です。			
			

施設名	5.久住体育館	棟名	体育館
評価部位	外壁 C	評価部位	内部 C
仕上げ材のクラックなどが見られます。		錆、クラック、建具損傷など劣化が多数見られます。	
			

施設名	6.大栄 B&G 海洋センター	棟名	アリーナ、武道場、会議室等
評価部位	内部 C	評価部位	機械設備 C
クラック、漏水跡、仕上げ材の破損など劣化が随所に見られます。		錆が多く見られます。	
			

施設名	7. 大栄 B&G 海洋センター	棟名	水泳プール棟
評価部位	内部 B	評価部位	
鉄骨に錆が見られましたが部分的です。		その他、特に著しい劣化は見られませんでした。	
			

施設名	8. ナスパ・スタジアム (大栄野球場)	棟名	野球場
評価部位	外壁 D	評価部位	構造部 B
爆裂による鉄筋の露出が見られた他、クラック、白華なども随所に見られます。		錆汁などの劣化が見られましたが部分的です。	
			
			

施設名	9.印東体育館	棟名	体育館
評価部位	内部 C	評価部位	外壁 B
漏水跡が随所に見られます。		目地劣化やクラックなど見られましたが部分的です。	
			

施設名	10.豊住ふれあい健康館	棟名	体育館
評価部位	構造部 D	評価部位	屋根・屋上 C
爆裂による鉄筋の露出が複数個所に見られます。		錆・劣化による腐食穴が見られます。	
			
評価部位	外壁 C	評価部位	内部 C
剥離が見られます。		壁にひび割れが見られます。	
			
評価部位	機械設備 C	評価部位	電気設備 C
機器の錆が見られます。		経年による劣化が見られます。	
			

第4章 改修・更新費用の算出及び長寿命化の効果検証

4.1 算定条件

(1) 修繕・更新周期の設定

「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）」の各部位・設備の主要な部材の修繕・更新周期を参考に部位・設備等の修繕・更新周期を以下のとおり設定します。

スポーツ施設の改修・更新費用の算出においては、「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）」に掲載された代表的な建物モデルを活用し、1,000 m²以下の建物は「小規模事務庁舎」モデルを、1,000～10,000 m²の建物は「中規模事務庁舎」モデルを適用します。

表 4-1 修繕・更新周期

部位・設備		事務所モデル周期（年）			
		小規模		中規模	
		修繕	更新	修繕	更新
建築部位	屋根・屋上	20	30	20	30
	外壁	20	40	10	50
	外部建具	20	40	20	40
	内部	20	40	20	40
電気設備	受変電	15	30	15	30
	通信・情報	5	25	5	25
機械設備	空調	10	20	10	20
	換気	5	30	5	30
	給排水	5	30	5	30
	消火	-	-	-	-

資料：平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）

※部位・設備のなかで、複数の部材があり周期が異なる場合は、そのなかで主要部材の周期としています。

(2) 修繕・更新、改修等の単価設定

○修繕・更新の単価は、「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）」を参考に設定します。

○長寿命化改修の単価は改築工事単価の 6 割とし、250,000 円/m²とします。

4.2 修繕・更新等費用の見通し

前述の条件のもと、①標準耐用年数(60年)まで維持した場合の修繕・更新等費用、②目標耐用年数(80年)まで維持した場合の修繕・更新等費用は、以下に示すとおりです。

① 標準耐用年数(60年)まで維持した場合の修繕・更新等費用

○全ての施設を標準耐用年数(60年)まで使用した場合の40年間の修繕・更新等費用の合計は、約139億円、1年間の平均は約3.5億円となります。

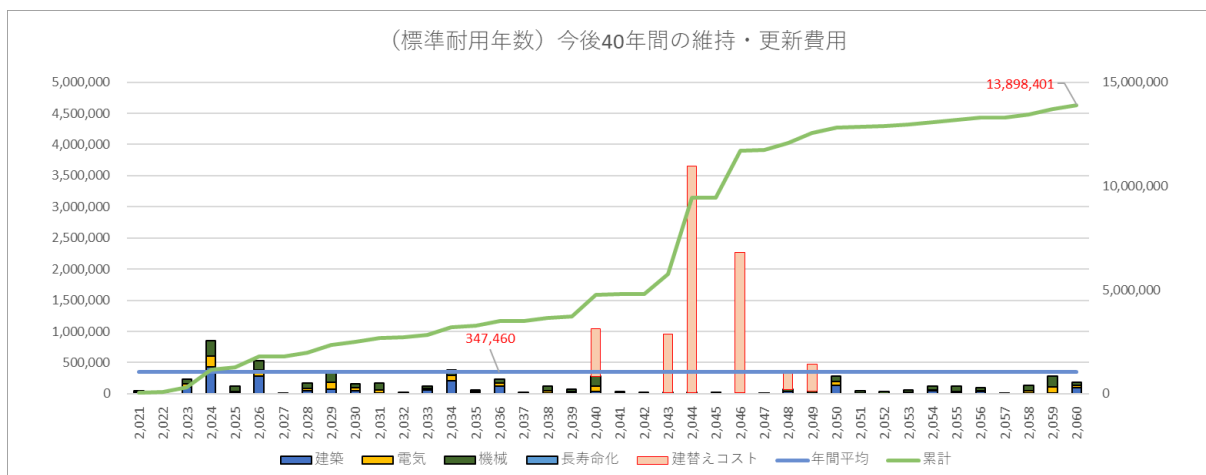


図4-1 標準耐用年数(60年)まで維持した場合の修繕・更新等費用

② 目標耐用年数(80年)まで維持した場合の修繕・更新等費用(長寿命化)

○全ての施設を目標耐用年数(80年)まで使用した場合の40年間の修繕・更新等費用の合計は、約101億円、1年間の平均は約2.5億円となります。

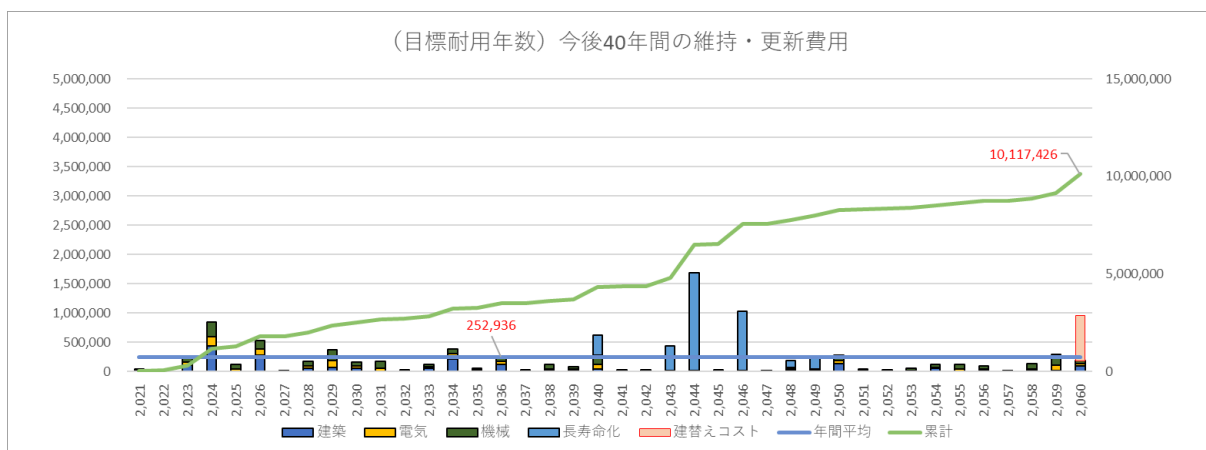


図4-2 目標耐用年数(80年)まで維持した場合の修繕・更新等費用

○施設別の今後40年間の修繕・更新等費用

表4-2 施設別の修繕・更新等費用（40年間合計）

（千円）

施設番号	施設名称	棟名称	建築年度	構造	延べ床面積	項目	標準耐用年数	目標耐用年数
1	大谷津運動公園	水泳プール管理棟	平成20年	RC	426.00	建築	48,052	48,052
						電気	44,107	44,107
						機械	74,049	74,049
						長寿命化	0	0
						建替えコスト	0	0
						合計	166,208	166,208
2	中台運動公園	陸上競技場	昭和58年	RC	2,241.00	建築	183,684	183,684
						電気	121,315	121,315
						機械	244,815	244,815
						長寿命化	0	430,961
						建替えコスト	943,961	0
						合計	1,493,775	980,775
2	中台運動公園	体育館	昭和59年	SRC	8,630.00	建築	707,360	707,360
						電気	467,180	467,180
						機械	945,700	945,700
						長寿命化	0	1,659,614
						建替えコスト	3,635,154	0
						合計	5,755,395	3,779,854
2	中台運動公園	相撲場	昭和63年	S	607.00	建築	53,180	53,180
						電気	29,887	29,887
						機械	51,689	51,689
						長寿命化	0	116,731
						建替えコスト	267,414	0
						合計	402,169	251,486
3	久住体育館	体育館	昭和55年	S	901.00	建築	35,841	35,841
						電気	36,612	36,612
						機械	79,373	79,373
						長寿命化	0	173,269
						建替えコスト	396,936	396,936
						合計	548,762	722,031
4	大栄B&G海洋センター	アリーナ、武道場、会議室等	昭和61年	RC	4,405.00	建築	361,057	361,057
						電気	202,877	202,877
						機械	408,152	408,152
						長寿命化	0	847,115
						建替えコスト	1,855,487	0
						合計	2,827,573	1,819,200
4	大栄B&G海洋センター	水泳プール棟	昭和61年	S	900.00	建築	78,849	78,849
						電気	44,314	44,314
						機械	75,608	75,608
						長寿命化	0	173,077
						建替えコスト	396,495	0
						合計	595,266	371,848
5	ナスバ・スタジアム（大栄野球場）	野球場	平成22年	RC	2,478.00	建築	257,249	257,249
						電気	254,036	254,036
						機械	433,723	433,723
						長寿命化	0	0
						建替えコスト	0	0
						合計	945,008	945,008
6	印東体育館	体育館	平成元年	S	986.00	建築	86,384	86,384
						電気	48,283	48,283
						機械	83,586	83,586
						長寿命化	0	189,615
						建替えコスト	434,382	0
						合計	652,635	407,868
7	豊住ふれあい健康館	体育館	昭和55年	RC	840.00	建築	33,415	33,415
						電気	34,134	34,134
						機械	73,999	73,999
						長寿命化	0	161,538
						建替えコスト	370,062	370,062
						合計	511,609	673,148
総合計							13,898,401	10,117,426

第5章 対策の優先順位の考え方

5.1 優先順位の考え方

(1) 施設現況調査による総合評価点

令和2年8月に実施した施設劣化度調査の結果から、劣化が進行している施設については、老朽化対策の優先順位を高く設定します。

施設番号	施設名	棟名 (建物名)	建築年度	延床面積 (㎡)	構造	総合 評価点
7	豊住ふれあい健康館	体育館	昭和55年	840.00	鉄筋コンクリート造 (RC)	320.00
3	久住体育館	体育館	昭和55年	901.00	鉄骨造 (S)	570.00
2	中台運動公園	体育館	昭和59年	8,630.00	鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)	668.00
5	ナスバ・スタジアム (大柴野球場)	野球場	平成22年	2,478.00	鉄筋コンクリート造 (RC)	675.00
2	中台運動公園	陸上競技場	昭和58年	2,241.00	鉄筋コンクリート造 (RC)	681.00
2	中台運動公園	相撲場	昭和63年	607.00	鉄骨造 (S)	690.79
6	印東体育館	体育館	平成元年	986.00	鉄骨造 (S)	708.42
4	大柴B&G海洋センター	アリーナ、武道場、会議室等	昭和61年	4,405.00	鉄筋コンクリート造 (RC)	762.00
1	大谷津運動公園	水泳プール管理棟	平成20年	426.00	鉄筋コンクリート造 (RC)	851.00
4	大柴B&G海洋センター	水泳プール棟	昭和61年	900.00	鉄骨造 (S)	885.53

【優先度】

↑ 高

↓ 低

(2) 改修履歴を考慮した優先順位の考え方

施設の改修工事の履歴は、劣化状況調査の結果と合せ、部位ごとの評価に反映します。

施設番号	施設名称	棟名称	工事履歴 (改修等)	
			工事件名	実施年
1	大谷津運動公園	水泳プール管理棟	—	—
2	中台運動公園	陸上競技場	公認更新工事	H24
			公認更新工事	H29
			観覧席等改修工事	H29
		体育館	屋根・外壁改修工事	H25
		中台運動公園体育館改修工事	H27	
		中台運動公園体育館アリーナ床改修工事	H27	
		中台運動公園体育館アリーナ空調設備整備工事	H29~30	
		相撲場	勝負俵等修繕	H24
3	久住体育館	体育館	久住体育館陸屋根防水改修工事	H28
4	大柴B&G海洋センター	アリーナ、武道場、会議室等	改修工事(1)	H17
			改修工事(2)	H25
			受電設備改修工事	H29
			屋根雨漏り修繕	H30
			防水改修工事	R2
		水泳プール棟	改修工事(1)	H17
		改修工事(2)	H25	
5	ナスバ・スタジアム (大柴野球場)	野球場	廊下壁改修工事	H29
			会議室漏水修繕	H30
			スタンドシーリング修繕	H30
			外部梁改修工事	R1
6	印東体育館	体育館	印東体育館屋根塗装修繕	H24
			印東体育館バスケットゴール修繕	H26
			印東体育館合併浄化槽修繕	H27
7	豊住ふれあい健康館	体育館	バスケットゴール昇降装置交換工事	H24
			体育館改修工事	H25

第6章 対策内容と実施時期

6.1 今後7年間の施設別の老朽化対策と実施時期

老朽化対策は建築物の各部位・設備の修繕及び更新の周期に応じた修繕・改修工事を主とします。ただし、著しい劣化状況（評価D）の見られた施設の部位・設備については、早急な対応が必要なことから、令和4年度に対象部位・設備の修繕又は改修の実施を検討しています。

対策の実施時期は、部位・設備の更新周期によりますが、修繕更新コストの比重が最も高い年度に修繕・更新工事を集約することとします。また、施設ごとの修繕・更新工事の実施年度が重複し、修繕更新コストの突出する年度が発生しない様、修繕・更新工事の時期を前後3年間の範囲で調整します。

(1) 大谷津運動公園 水泳プール管理棟

- 大谷津運動公園（水泳プール管理棟）は劣化状況の程度が良好であったため、建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。

(千円)

施設番号	施設名	棟名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度				
1	大谷津運動公園	水泳プール管理棟	平成20年	426㎡	RC	新築・建替コスト													
						長寿命化改修													
						仮設工事コスト													
						解体コスト													
						修繕更新コスト	建築												290
							電気												423
							機械												1,634
							共通費												505
コスト合計（消費税含む）														3,137					

- 令和8年度（2026年度）：屋根及び外壁修繕工事
- 令和8年度（2026年度）：電気・機械設備修繕工事

(2) 中台運動公園 陸上競技場

- 中台運動公園（陸上競技場）は劣化状況の程度が築年数に相応の結果であったため、建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。

(千円)

施設番号	施設名	棟名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度				
2	中台運動公園	陸上競技場	昭和58年	2,241㎡	RC	新築・建替コスト													
						長寿命化改修													
						仮設工事コスト													
						解体コスト													
						修繕更新コスト	建築												1,118
							電気												2,124
							機械												10,208
							共通費												2,633
コスト合計（消費税含む）														17,692					

- 令和7年度（2025年度）：屋根及び外壁修繕工事（一部建築物内部修繕を含む）
- 令和7年度（2025年度）：電気・機械設備修繕工事

(3) 中台運動公園 体育館

- 中台運動公園（体育館）は劣化状況の程度が築年数に相応の結果であったため、建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。

(千円)

施設番号	施設名	機名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
									2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
2	中台運動公園	体育館	昭和59年	8,630㎡	SRC	新築・建替えコスト									
									長寿命化改修						
									仮設工事コスト						
									解体コスト						
									修繕更新コスト	建築			5,323		
										電気			8,179		
										機械			40,554		
共通費			13,245												
コスト合計（消費税含む）			74,031												

- 令和6年度（2024年度）：屋根及び外壁修繕工事（一部建築物内部修繕を含む）
- 令和6年度（2024年度）：電気・機械設備修繕工事

(4) 中台運動公園 相撲場

- 中台運動公園（相撲場）は劣化状況の程度が築年数に相応の結果であったため、建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。

(千円)

施設番号	施設名	機名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
									2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
2	中台運動公園	相撲場	昭和63年	607㎡	S	新築・建替えコスト									
									長寿命化改修						
									仮設工事コスト						
									解体コスト						
									修繕更新コスト	建築				450	
										電気				785	
										機械				3,594	
共通費				765											
コスト合計（消費税含む）				6,154											

- 令和8年度（2026年度）：屋根及び外壁修繕工事（一部建築物内部修繕を含む）
- 令和8年度（2026年度）：電気・機械設備修繕工事

(5) 久住体育館 体育館

- 久住体育館（体育館）の劣化状況の程度は、他の施設と比較してやや劣化が進んでいますが、著しい劣化は見られずおおむね築年数に相応の結果となっています。
- 対策の実施時期は建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期を基本としますが、対策の優先度の高い施設となるため、対策の実施時期は他の施設より優先して早めに実施します。

(千円)

施設番号	施設名	機名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
									2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
3	久住体育館	体育館	昭和55年	901㎡	S	新築・建替えコスト									
									長寿命化改修						
									仮設工事コスト						
									解体コスト						
									修繕更新コスト	建築			613		
										電気			2,238		
										機械			8,098		
共通費			3,285												
コスト合計（消費税含む）				15,656											

- 令和5年度（2023年度）：屋根及び外壁修繕工事（一部建築物内部修繕を含む）
- 令和5年度（2023年度）：電気・機械設備修繕工事

(6) 大栄 B&G 海洋センター アリーナ、武道場、会議室等

- ・ 大栄 B&G 海洋センター（アリーナ、武道場、会議室等）は令和 2 年度に屋根改修工事を実施したこともあり、良好な状態が保たれています。
- ・ 屋根の修繕・改修工事については令和 2 年から起算した周期とし、その他の部位については建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。 (千円)

施設番号	施設名	棟名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
									2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
4	大栄B&G海洋センター	アリーナ、武道場、会議室等	昭和61年	4,405㎡	RC	新築・建替えコスト									
									長寿命化改修						
									仮設工事コスト						
									解体コスト						
									修繕更新コスト	建築					2,717
										電気					4,660
										機械					27,930
										共通費					10,592
コスト合計（消費税含む）														50,489	

- 令和 8 年度（2026 年度）：屋根及び外壁修繕工事（一部建築物内部修繕を含む）
- 令和 8 年度（2026 年度）：電気・機械設備修繕工事

(7) 大栄 B&G 海洋センター 水泳プール棟

- ・ 大栄 B&G 海洋センター（水泳プール棟）は令和 2 年度に一部屋根（風除室等）の改修工事を実施したこともあり、良好な状態が保たれています。
- ・ 全体として劣化状況の程度は築年数に相応の結果であったため、建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。 (千円)

施設番号	施設名	棟名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
									2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
4	大栄B&G海洋センター	水泳プール棟	昭和61年	900㎡	S	新築・建替えコスト									
									長寿命化改修						
									仮設工事コスト						
									解体コスト						
									修繕更新コスト	建築					777
										電気					1,208
										機械					5,653
										共通費					2,291
コスト合計（消費税含む）														10,923	

- 令和 8 年度（2026 年度）：屋根及び外壁修繕工事（一部建築物内部修繕を含む）
- 令和 8 年度（2026 年度）：電気・機械設備修繕工事

(8) ナスパ・スタジアム（大栄野球場） 野球場

- ・ ナスパ・スタジアム（大栄野球場）（野球場）の劣化状況の程度は全体としては築年数に相応の結果でしたが、外壁において著しい劣化状況が見られたため、令和 4 年度に外壁改修工事の実施を検討しています。
- ・ その他の部位・設備については、建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。 (千円)

施設番号	施設名	棟名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
									2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
5	ナスパ・スタジアム（大栄野球場）	野球場	平成22年	2,478㎡	RC	新築・建替えコスト									
									長寿命化改修						
									仮設工事コスト			5,471			
									解体コスト						
									修繕更新コスト	建築		26,896			1,088
										電気					1,929
										機械					8,987
										共通費			8,069		3,601
コスト合計（消費税含む）							44,480						17,165		

- 令和 4 年度（2022 年度）：外壁更新工事
- 令和 8 年度（2026 年度）：屋根及び建築物内部修繕工事
- 令和 8 年度（2026 年度）：電気・機械設備修繕工事

(9) 印東体育館 体育館

- ・ 印東体育館（体育館）の劣化状況の程度は築年数に相応の結果であったため、建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。

施設番号	施設名	棟名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
									2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
6	印東体育館	体育館	平成元年	986㎡	S	新築・建替えコスト									
									長寿命化改修						
									仮設工事コスト						
									解体コスト						
									修繕更新コスト	建築					852
										電気					1,114
										機械					6,013
共通費					2,394										
コスト合計（消費税含む）						11,409									

- 令和9年度（2027年度）：屋根及び外壁修繕工事（一部内部改修含む）
- 令和9年度（2027年度）：電気・機械設備修繕工事

(10) 豊住ふれあい健康館 体育館

- ・ 豊住ふれあい健康館（体育館）は全体的に劣化が進んでおり、特に外壁において著しい劣化状況が見られます。また、屋根についても劣化が進んでいるため、令和4年度に外壁・屋根の改修工事の実施を検討しています。
- ・ その他の部位・設備については、建築年から起算した部位部材の修繕・更新周期に応じた修繕を実施します。

施設番号	施設名	棟名称	建築年度	延床面積	構造	コスト区分	工事種別	部位区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
									2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
7	豊住ふれあい健康館	体育館	昭和55年	840㎡	RC	新築・建替えコスト									
									長寿命化改修						
									仮設工事コスト			2,570			
									解体コスト						
									修繕更新コスト	建築		12,945			232
										電気					2,087
										機械					6,694
共通費			3,884		2,518										
コスト合計（消費税含む）			21,339			12,684									

- 令和4年度（2022年度）：屋根・外壁更新工事
- 令和7年度（2025年度）：建築物内部修繕工事
- 令和7年度（2025年度）：電気・機械設備修繕工事

6.2 老朽化対策の実施時期

(1) 対策の実施時期

- ・ 施設別修繕・更新工事の実施時期は表 6-1 のとおりです。

表 6-1 老朽化対策工事の実施時期

No,	施設名	棟名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
1	大谷津運動公園	水泳プール管理棟						○	
2	中台運動公園	陸上競技場					○		
		体育館				○			
		相撲場						○	
3	久住体育館	体育館			○				
4	大栄 B&G 海洋センター	アリーナ、武道場 会議室等						○	
		水泳プール棟						○	
5	ナスパ・スタジアム (大栄野球場)	野球場		●				○	
6	印東体育館	体育館							○
7	豊住ふれあい健康館	体育館		●			○		

●：部位更新工事

○：部位修繕工事

第7章 計画の継続的運用方針

7.1 施設情報の整備活用

定期的な点検・調査の結果を施設情報としてとりまとめ、計画的かつ効率的な維持管理のため活用します。

7.2 推進体制

本計画を継続して実施するため、スポーツ振興課を中心に各施設の指定管理者とも連携して取り組みます。

7.3 フォローアップ

計画の進捗状況を把握・評価し、状況に応じて適切に改善を行います。そのため、「PDCA サイクル」の考え方に基づいて計画の推進に取り組みます。また、計画の見直しに際しては、長寿命化等の実施状況、劣化状況を評価し、再検討を行います。

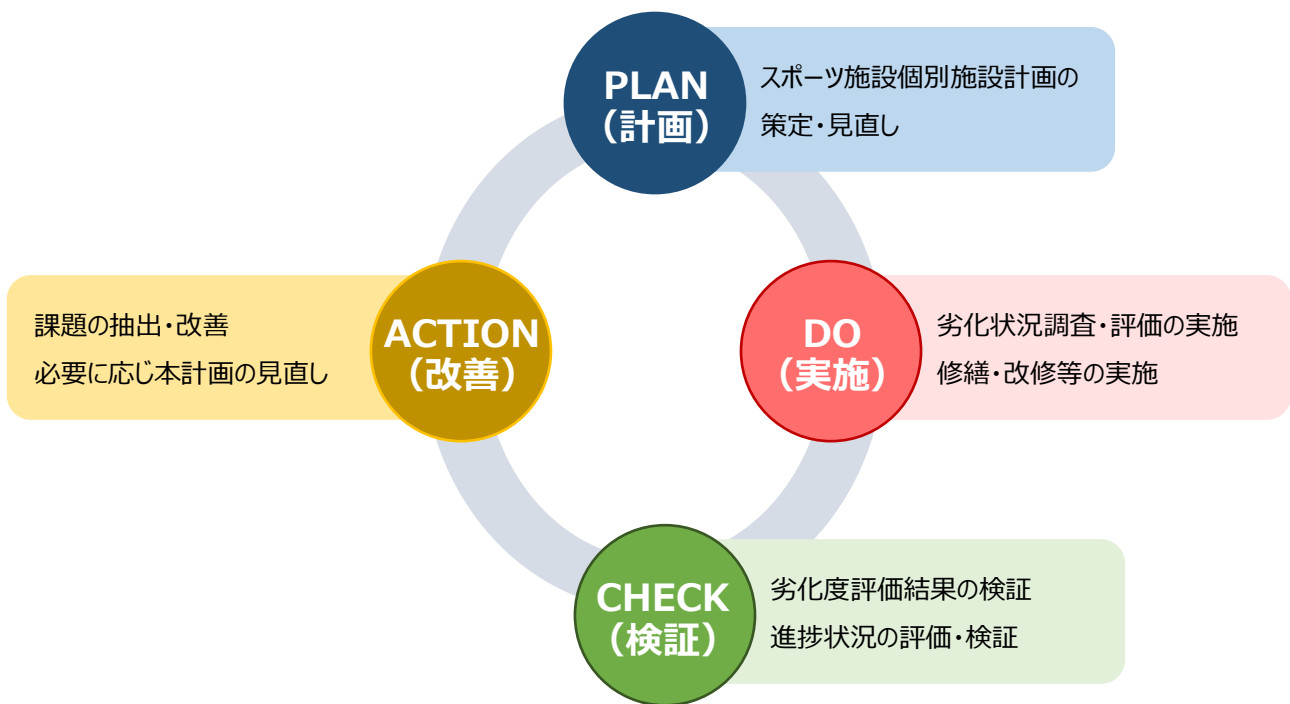


図 7-1 フォローアップの実施イメージ

成田市スポーツ施設個別施設計画

発行 成田市
編集 シティプロモーション部 スポーツ振興課
〒286-8585 千葉県成田市花崎町 760 番地
TEL : 0476-20-1584
発行年月 令和 3 年 3 月
登録番号 成ス 20-049